

## INI ファイルパラメータ設定

File Create Checker, Client のインストール時に「fccClientInit.ini」ファイルに各種パラメータを前もって設定することにより、システムに反映できます。

「fccClientInit.ini」の値はメモ帳などで変更できます。

各パラメータ値を使用する環境に合わせて事前に設定し、クライアントインストールセットを各ユーザに配布する、或いはユーザ全員がアクセス出来るネットワーク上の共通フォルダに格納し、それを使用してインストールすることにより、クライアントインストール時にこれらの値を変更する必要がなくデフォルトのままインストールすることができ、多数のクライアントへのインストール作業の効率が向上します。

インストール後にパラメータの変更を行う必要が生じた場合は共通 Application Data フォルダ

Windows 2000/Windows XP にインストールした場合

C:\¥Documents and Settings¥All Users¥Application Data¥FileCreateChecker¥Client

Windows7 にインストールした場合

C:\¥ProgramData¥FileCreateChecker¥Client

内の fccClientInit.ini を変更し、各クライアントにインストールした『fccClient パラメータ設定』を起動し、その後クライアント PC を再起動して下さい。

### [NETSECTION]

ネットワークのパラメータをセットします。

fccMode=Online

Online 又は Offline を指定します。デフォルトは Online です。

fccIPAddress=127.0.0.1

サーバーの IP アドレス又はホスト名を指定します。デフォルトは 127.0.0.1 です。

fccPortNo=49300

ポート番号を指定します。デフォルトは 49300 です。

### [FDDSECTION]

フロッピーディスクに対する定義を行います。

FDDCount=2

装備されている、又は装備される可能性のあるフロッピーディスクドライブの数を指定します。デフォルトは 2 です。

FDD1=A

FDD2=B

フロッピーディスクドライブのドライブレターを指定します。デフォルトは「A」と「B」です。

A と B が指定されていない場合、自動で追加されます。

FDDTreat=N

フロッピーディスクを監視対象とするかどうかを指定します。デフォルトは「N」です。監視対象とする場合は「Y」をセットします。

### [HDDSECTION]

ハードディスクに対する定義を行います。

HDDTreat=NonRename

ハードディスク内のファイルの名称変更監視を行わない場合に指定します（デフォルト値）。監視を行う場合、本パラメータを Ini ファイルから取り去ってください。

## [WATCHSECTION]

ファイルの作成、書き込み以外の操作の監視を指定します。

ChangeWatch=Y

更新、上書き等も監視対象とするかどうかを指定します。初期値は「Y」です。監視対照としない場合は「N」を指定します。

DeleteWatch=Y

削除も監視対象とするかどうかを指定します。初期値は「Y」です。監視対照としない場合は「N」を指定します。

RenameWatch=Y

名前の変更も監視対象とするかどうかを指定します。初期値は「Y」です。監視対照としない場合は「N」を指定します。

ZeroFileSend=Y

サイズが0バイトのファイル（フォルダと見なします）作成も監視するかどうかを指定します。初期値は「Y」です。監視対照としない場合は「N」を指定します。